

なごみエンターテインメントアカデミーが開校

4月1日（土）、旧春富小学校で芸能養成学校「なごみエンターテインメントアカデミー」の開校式がありました。町長や地元区長などが出席した開校式を終えたあと、早速東京などから招いた演出家や振付師といった講師陣でレッスンが始まりました。

今年度はアクティブプロフェッショナルレッスンとして土曜、日曜に合宿形式でのレッスンを行い、来年度からは全日制で高校コースも始まります。初年度一期生としては中・高校生、社会人など幅広く10人の生徒が集い、各々の夢に向かって和水町から一歩を踏み出しました。



レッスンを受ける受講者



和水町消防団辞令交付式

4月2日（日）に和水町中央公民館で平成29年度和水町消防団辞令交付式が行われました。

式では、小木団長より新入団員への辞令交付と長年にわたり消防団員として活躍され、今回任期退職される消防団員に退職辞令交付が行われ、福原町長から感謝状と記念品の授与が行われました。

また、新入団員に対して有明消防本部職員のもと初めての消防規律訓練が行われました。

平成29年度は総員514人で新たな和水町消防団活動がスタートします。消防団員の今後の活躍に期待します。

平成29年度 新入団員29人 任期退職団員11人



退職団員への辞令交付

人権擁護委員感謝状の贈呈がありました

4月10日（月）、役場本庁で人権擁護委員の佐藤博明さん（住吉）に福原町長から法務大臣感謝状ならびに記念品の贈呈を行いました。佐藤さんは、平成20年4月に人権擁護委員の委嘱を受けた後、平成29年3月末まで3期9年に渡り、人権擁護委員として啓発活動、相談業務ならびに玉名人権擁護委員協議会の活動など委員として多大な功績を残しました。

また、長きに渡り活躍された坂口幸裕さん（馬場）は、平成29年3月にご退任され、4月からは、新たに角田公生さん（江光寺）と松尾憲成さん（山十町）が委嘱を受け、人権擁護委員活動などに従事されます。



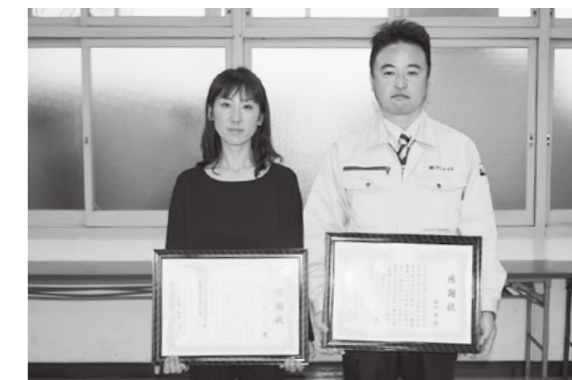
感謝状を受け取る佐藤さん

人命救助の表彰がありました

3月23日（木）、玉名消防署で人命救助表彰がありました。表彰されたのは、福田摂さん（久井原）と山口恵美さん（竜門）の2人です。

2人は、菊水西小学校で行われていたPTA行事で運動をしていた際に、一緒に参加していた男性が心肺停止状態になり、2人は救急車の要請依頼やAEDの手配を行い、協力して胸骨圧迫を約5分間実施しました。心肺停止状態の男性は、救急隊が到着する前に心肺機能が再開、救急隊到着後間もなく返事ができるまで回復しました。

菊水西小学校PTAでは、AEDの使い方などの救命講習会を毎年実施しており、今回その講習が役立ち、命を救うことができました。



表彰された山口さん（左）と福田さん（右）

かかし祭りに被災者を招待 ～上板楠かかし祭り～

3月25日（土）～4月9日（日）、平々公民館前の田んぼで上板楠かかし祭りが開催されました。これは、地域づくり団体「みどりの里上板楠」が実施するイベントで今年で8回目。着物姿の人や牛など約120体が展示されました。

また今年、柳原志保さん（馬場）が熊本地震から約1年を迎えるに当たりもう一度防災について考えようと防災のコーナーが設けられました。

さらに、3月28日（火）には、熊本地震で被災した益城町の28人を招待。会長の佐藤博明さん（住吉）が益城町でのボランティア活動で知り合ったのをきっかけに招待しました。かかしを見学後、近くの公民館で地元の女性らが手作りしただご汁などを食べて交流しました。

参加した吉村静代さんは「かかしが本物みたいでびっくりした。地元の人と交流して久しぶりに息抜きができてよかった。」とうれしそうでした。



かかしを見る参加者

城北製糸記念碑の完成除幕式が行われました

3月31日（金）、城北製糸記念碑の完成除幕式が、城北製糸株式会社の長野和男社長をはじめ、地元区長や菊水史談会長の参列のもと行われました。

城北製糸株式会社は、大正7年の創業以来75年間にわたって熊本県製糸業の拠点であり続け、全国有数の養蚕地帯となった県北地域の経済発展に大きく寄与しました。その歴史と功績を讃えるものとして、このたび会社跡地の一角に記念碑を建立しました。

地域の近代化を担った城北製糸株式会社および製糸業の歴史が、長く後世に受け継がれることをお祈りするとともに、建立にあたりご協力いただいた城北製糸株式会社と関係各位に、厚く御礼を申し上げます。



記念碑の除幕式の様子